

「選曲レスカラオケ」実証実験をToyota Woven Cityで開始 新たな歌唱体験の実現を目指して9月1日より実施

株式会社第一興商（以下、当社）は、いつでも、どこでも、誰もが気負わずにもっと自由に歌えるカラオケの在り方を追求するため、Toyota Woven City（トヨタ・ウーブン・シティ）において第一弾となる実証実験「選曲レスカラオケ」を2026年9月1日より開始します。



当社は、長年に亘りカラオケを通じた歌唱文化の発展に取り組んできました。カラオケは世代や立場にとらわれず人と人とのつながりを生み出すコミュニケーションツールとして広く親しまれています。また、歌唱にはストレス軽減や脳の活性化など、心身の健康にも効果があると認められており、エンターテインメントの領域を超えた活用の可能性が注目されています。

こうした価値をより多くの人に届けるため、Toyota Woven Cityにインベンターとして参画する当社は、従来のカラオケを進化させる新たな歌唱スタイルの可能性を探ります。

本実証では、デンモクなどのリクエスト端末を設置せず、利用者による楽曲検索や選曲を必要としない新たなカラオケ体験を検証します。ユーザーエクスペリエンス（UX）やユーザーインターフェース（UI）の評価を行い、併せて「選曲レスカラオケ」を実現するためのプレイリスト作成技術に関する知見を蓄積していきます。

■「選曲レスカラオケ」実証実験 概要

- 参加者 : 2026年8月から9月上旬に応募した20歳以上のToyota Woven City居住者および訪問者
- 期間 : 2026年9月1日～9月30日
- 場所 : Kakezan Invention Hub内に設置されたDAM搭載のe-Palette
- 内容 : 「選曲レスカラオケ」のUX/UIおよび個々の利用者に向けたプレイリスト作成手法の評価
1. 事前アンケート
参加者に年齢、音楽の嗜好、カラオケ利用経験などに関するアンケートを実施
取得した情報を基に一人一人に最適化されたプレイリストを作成
 2. 歌唱体験
・参加者は予約した日時に実施場所を訪れ、設置のタブレット端末に参加者ごとのID番号を入力
・事前アンケート結果から作成されたプレイリストがダウンロードされ、DAMで再生される
・参加者は再生された曲を順番に歌う。歌えない曲や好みに合わない曲はスキップする
 3. 事後アンケート
歌唱終了後、再生された曲の適合度や満足度、歌唱体験全体に関するアンケートを実施

今後は、本実証で得られたデータを分析し、より手軽で高精度な楽曲レコメンド手法の確立を目指します。さらに、複数人でのカラオケ利用を想定したグループ向けのプレイリスト作成に関する実証実験も進める予定です。

当社は、いつでもどこでも歌える環境をつくることで、人々のところとからだの健康に寄与し、誰もがいきいきと過ごせる豊かな社会づくりを支援します。

■Toyota Woven City

Toyota Woven Cityは、「自分以外の誰かのために」という想いをもつInventors（インベンターズ／発明家）が集い、自らのプロダクトやサービスを創出・実証する「モビリティのテストコース」です。Inventorsには、企業、スタートアップおよび起業家など同じ志をもつ法人や個人が含まれます。Weavers（Toyota Woven Cityに実際に住み、働く人あるいは訪問者のことで、さまざまな実証に参加する人）からリアルなフィードバックを受けながら、さまざまなInventorsとのコラボレーションを通じて、未来につながるイノベーションを生み出していきます。



■関連サイト

Toyota Woven City : [Toyota Woven City | Home](#)